

まちなか観光について

木下 敬夫 議員(礎)

木下議員 まちなか観光の拠点となるので、旧中央図書館跡地周辺の整備について、今年度、構想策定が決定され、具体的な方向性が煮詰められてきている時期だと思えますので、事業の概要と進捗状況、完成後の施設の



運営について伺います。不嶋市長 国の交付金事業を活用して整備をしたと考えており、国とも調整を始めているところ。中心市街地の周遊性、回遊性を高める拠点エリアと位置づけられており、七尾の歴史や文化を感じ取ることができるよう空間として整備をしていきたいと思えます。進捗状況ですが、民有地の取得に向けて、所有者の方々と話し合いをさせ

ていただいている段階です。また、地元の皆さんとの話し合いの場ですが、商工会議所の中にある商業まちづくり委員会にお願いをしており、整備する施設に作り込む機能や完成後の運営などについて、地元町会や一本杉振興会の意向も含め御提案をいただきたいと思います。公設民営が基本だと思えます。指定管理に出させて

が弾力的に施設を利用できるようにしたいと思っておりますし、利用料金制のところにも活用できる仕組みも作っていききたいと思っております。

- その他の質問項目
- 河川の浄化に向けた取り組み
 - 七尾市販路開拓支援事業



旧中央図書館

第3次行革プランについて

永崎 陽 議員(灘会)

永崎議員 3次行財政改革プランの中には施設の統廃合の問題があります。その中で、市民センターのあり方も当然議題となります。旧3町の各市民センターは最小限に残しておく施設だと思っております。市民センター



はこれまでの機能を残し、旧3町の中心的機能として3次プランの中に明確に提起される必要があると思っております。改めて、公共施設の計画的廃止とストックの活用についての考え方を伺います。不嶋市長 3次プランについては、市の付属機関である行財政改革推進委員会において、今後予想される人口減少や厳しい財政状況などを踏まえ、議論を一生懸命行ってい

ただいているところ。より簡素で効率的な行政体制を作ることが大事です。そういった意味では、市民センターに限らず、踏み込んだ議論が必要だと考えています。市民センターでは、現在取り扱っている窓口事務があります。例えば、市民に身近な公民館等の活用も含めて、委員会の提言を踏まえながら3次プランに反映していきたいと考えています。また、公

共施設については、耐震性、老朽化などを勘案した上で、既存施設の統廃合も含め、適正配置に踏み込んでいかなければならないと考えています。

- その他の質問項目
- 道州制
 - 能越道開通と定住促進
 - 消費税増税
 - 原発の安全協定
 - 老朽化対応



七尾市行財政改革2次プラン

ポイント付き介護ボランティア制度の取り組みについて

伊藤 厚子 議員(無会派)

伊藤議員 介護支援ボランティア制度については平成23年9月議会でも質問しています。その時は、先進地の事例を参考にしながら、庁内でプロジェクトチーム等も立ち上げて取り組んでいきたいと



御答弁を頂いています。現在の取り組み状況について伺います。また、介護施設のお手伝いだけではなく、例えば在宅での介護支援の方々へのお手伝いといったボランティア活動も加えていただき、在宅の方への支援にもつなげていただきたいと思えます。見解を伺います。岡野健康福祉部長 庁内の取り組みについては、

第6期の介護保険事業計画期間の初年度である平成27年度に実施すべく、現在協議を進めているところです。なお、在宅ボランティアですが、施設ボランティアの場合には、支援を行う者と受ける者に加えて、施設職員が活動を見守っていることとなります。一方で在宅ボランティアの場合は、支援を行う者と受ける者のみで、事故やトラブルの

対応が出来ないなど課題も多く、現時点では考えていません。

- その他の質問項目
- 高齢者の移動手段確保
 - 人事登用試験の実施
 - 子育て支援の強化
 - 防災訓練や防災体制の強化
 - 命のカプセル推進事業
 - 商店街と「能登の里山里海」の七尾ブランド発掘による農林水産業の活性化



介護保険事業計画・老人福祉計画

保育士の増員について

佐藤 喜典 議員(市民クラブ)

佐藤議員 子どもひとり一人の育ちに沿った保育を行うため、保育士の配置基準として、国の最低基準を踏襲するのではなく、例えば新たに1歳児や2歳児、3歳児の基準などを市独自で設けること



も方法だと思えます。見解を伺います。また、子育てしやすい環境づくりこそ人口の増加につながると思えますがこのような施策はあるのか伺います。不嶋市長 保育士の増員には多額の財政負担を伴います。したがって、市独自の配置基準の見直しによつての増員は難しいと思っております。こうしたことから、今後とも市長会を通じて、国の責任

において保育士の配置基準の見直しを行うように働きかけていきたいと考えています。岡野健康福祉部長 定住人口の拡大は、さまざまな生活要件を充実させることが大事であると考えており、子育て支援策も重要な要件の一つと思っております。市では、保育園での延長保育、休日保育、一時預かり(デイサービス)など、特別保育事業の

充実を図るとともに、家庭で子育てをする保護者のための支援センターやファミリーサポートセンターの設置、就学児童のための放課後児童クラブなど、多岐にわたる子育て支援を展開しているところです。

- その他の質問項目
- 時間外勤務
 - 臨時非常勤職員
 - 土地区画整理事業



中島保育園